

# コミュニティにおける子どもの栄養改善プロジェクト(第2期) 2023 年度報告書

(認定特活) シェア＝国際保健協力市民の会

## <プロジェクト概要>

**地域:** プレアビア州4郡(クーレーン/チェープ/チェイサエン/サンコムトマイ)、25 コミューン(12 保健センター管轄区)

**直接対象者:** プレアビア州保健局、保健センタースタッフスタッフ、保健ボランティア(VHSG)、女性子ども委員会(PCWC/DCWC/CCWC)

**間接対象者:** 対象地域における5歳未満児(推定 15,581名)とその養育者 および妊産婦(推定 3,469)

**プロジェクト目標:** 対象地域の5歳未満児の子どもの栄養状態が改善される

## 【2023 年度の実績と成果】

2023年4月からは第1期までの地域を拡大し、対象の子どもを2歳未満から5歳未満に引き上げ、自治体「女性子ども委員」が自治体予算を活用しながら主体的に乳幼児健診や離乳食教室を実施できるようになるための側面支援を実施しました。第2期の始動に際しては、対象地4郡でキックオフミーティングを実施し、女性子ども委員から、コミュニティが主体となって子どもの健康増進活動を実施していくことについて共通の理解を得ることができました。

### 1. 「女性子ども委員会が子ども健康増進活動を管理できる」

2023年は5カ年のプロジェクト前半2年間で集中的に介入する2郡(チェープ、チェイサエン郡)の女性子ども委員への情報収集を実施するとともに、養育者、妊産婦を対象として、プロジェクト介入前の子どもの栄養状態、食事や子どものケアに関する知識と実施内容、衛生の知識と実施状況、24時間思い出し法を用いて食事摂取群などを把握するためのベースライン調査を実施しました。ベースライン調査の結果は、プロジェクト開始時点の指標として使用する予定です。



保健ボランティア会議では、対象地域の5歳未満児と妊婦の人数の精査を行った



スタッフによる聞き取り調査

### 2. 「妊産婦・養育者が適切な子どもの栄養行動が取れる」

ハリボー保健センターにおいては、4月に前倒しで保健ボランティアを対象としたリフレッシュ研修を行うことができました。研修では保健ボランティアの役割と責任、子どもの栄養、イエローカードの記入方法、身長体重計の方法、MUAC(上腕周囲径)、保健センターにおける急性栄養失調治療について扱い、研修後のテストでは23.7%の向上の結果が得られました。第1期のチャムロン保健センター・レナクセ保健センターもハリボー保健センター同様リフレッシュ研修の実施サポートを要請していますが、地域で新規保健ボランティアの選出が完了していないため、選出が完了次第、リフレッシュ研修を行っていく予定です。

	
<p>リフレッシュ研修では保健センタースタッフから保健ボランティアに向けて研修が行われました</p>	<p>MUAC（上腕周囲経）は月齢6ヵ月から5歳未満の子供たちに使用します</p>

### 3. 「低体重児のフォローアップが改善される」

今期は対象地域の各保健センターに重度低体重の子どものリストと治療記録の確認を行いました。第1期の地域の保健センタースタッフが保健センターに診察に来た子どもや保健ボランティアからリファーされた重度低体重児（SAM）の治療を実施していることを確認することができました。



低体重児の家庭を訪問する保健ボランティア